

今回は、診療部長兼第一内科長の平カヤノ医師（写真）にお話を聞いてみましょう。

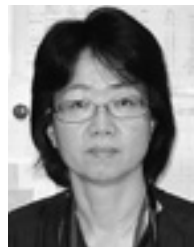
**Q** 心肺蘇生法や AED について教えてください。

**A** 皆さんの目の前で急に人が倒れたらどうしますか？どこかをぶつけて痛そうにしているときは意識がありますが、呼びかけても答えない場合は脳に障害があるか、心臓から脳に行く血液が乏しくなっているのかのどちらかです。すぐに救急車を呼びましょう。

しかし、待っている間その人が唸<sup>うな</sup>ったりけいれんしたりした後、動かなくなり呼吸が止まったら「心肺機能停止」と表現される状態です。救急車が来る前に**あなたが心臓マッサージをしなければなりません**。何もしなければ1分ごとに10%死亡率が上がっていきます。救急車が到着するまでの時間は統計で8.9分ですので、約90%の人は救急車が来て病院へ搬送しても死亡します。**1分でも早く心臓マッサージを開始する必要がある**のです。こんな現場に立ち会うことは一生に一回もないでしょうが、もし立ち会ってしまった場合、自信がなくても手を出してください。マッサージした時に痛がったり体を動かすようなら「心肺機能停止」状態ではありません。心臓マッサージは除細動治療へのつなぎです。もしその場所に除細動器（AED）がある場合には救急車が来る前に使うことを勧めます。

平成26年度の統計では、市民の目の前で倒れて心肺機能停止状態にある人が市民の手により心臓マッサージを受けた割合は54%でした。心臓マッサージを受けた人が1か月後に生存している割合は15%ですが心臓マッサージを受けなかった人は8%です。また、除細動器による処置を受けた人の生存率は50%にも上がります。いざという時のために救命講習会を受けましょう。

【統計：総務省消防庁平成27年版救急救助の現況より】



**講習会を受けてみよう！**

米沢消防署では、救命講習会を実施しています。詳しくはお問い合わせください。

**■問合せ／**

米沢消防署

☎ 23-3108